

あなたの本棚

新しい本の中から

大津市立図書館

発行No.258

令和3年



月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■塗りつぶしの日は休館です。



『妖怪がやってくる』

佐々木高弘/岩波書店/388.1 ササ 青少年

昔の記録や物語に書かれた妖怪はどこに出現し、人々はどのように対応したのか、妖怪の現れ方は時代によってどのように変わったか。古代から現代までのさまざまな文献を用いて、妖怪の正体に迫る。妖怪は身近なモノなのか？ はたまた…。

『わたしのなつかしい一冊』

池澤夏樹/毎日新聞出版/019.9 イケ

本当によい読書の記憶は「昔」の中にある。若い時に読んだもののほど心の深層に定位している。人気作家ら50人が、何度も読み返す「人生の一冊」を語るブックガイド。『毎日新聞』連載「なつかしい一冊」を単行本化。

『ミュージアムグッズのチカラ』

大澤夏美/国書刊行会/069 オオ

ミュージアムグッズ。それは私たちが博物館へと誘う「チカラ」に溢れている。「かわいいを楽しみたい」「感動を持ち帰りたい」など、博物館の楽しみ方ごとにミュージアムグッズを紹介。開発秘話や博物館データも掲載する。

『退屈の心理学』

ジェームズ・ダンカート /ニュートンプレス / 141.6 タン

退屈は行動を喚起する呼びかけであり、より深い満足を与えてくれる行動へと人を後押しする。年齢や成長と退屈の関係や、現代社会に広がる「退屈感染症」などを解説し、退屈が伝えるメッセージを生かす方法を伝える。

『定年格差』

郡山史郎/青春出版社/159.4 コウ

このまま働き続けるのか、まったく違う道を選ぶのか。70歳定年で働き方はどう変わる？ 86歳にして現役のビジネスマンが、「定年消滅時代」を楽しく生きるヒントを紹介。「定年格差」を乗り越える準備と変革法も伝える。

『酔っぱらいが変えた世界史』

ブノワ・フランクバルム/原書房/204 フラ

世界の歴史のもっとも重要な瞬間で多くの役割を果たしてきたアルコール。深酒により32歳で落命したアレクサンドロス大王、フランス革命とワイン、核危機渦中で泥酔するニクソン…。酒をめぐる21のエピソードを紹介する。

『不思議な山名 個性の山名』

大武美緒子/実業之日本社/291 オオ

野口五郎岳、化物山、ギリギリ山…。山の名前はとっても不思議。よく知られる山を例に、どのように名付けられたのかを解説するほか、ぎょっとする山名、思わず吹き出す珍山名など、個性的な山名も紹介する。



『見た目が気になる』

河出書房新社/河出書房新社/361.4 カワ

人はどうして見た目が気になるのか。周囲や社会の価値観にとらわれず「自分らしさ」を見出すために、モデルや社会学者、漫画家など26人が「見た目」との向き合い方を考える。

『子どもテツガク』

小川仁志/主婦の友社/379.9 オカ

深く考える力を身につければ、どんなことも乗り越えられるようになる。子どもが深く考えることを習慣化できるよう、「どうしていじめるの?」「仕事って大変?」など、86の問いを掲載する。

『宇宙への扉をあけよう』

ルーシー・ホーキング /岩崎書店/440 ホキ 青少年

ホーキング博士のスペース・アドベンチャーシリーズに収録されていた「科学コラム」等をテーマ別に構成。関係する科学者の紹介や用語解説なども掲載した、宇宙を目指す子どもの入門ガイド。

『GIS 地理情報システム』

矢野桂司/創元社/448.9 ヤノ

グーグルマップ、GPS、コンビニ出店計画、防災…。様々なシーンで活用されるGIS(地理情報システム)。GISが紙地図からデジタル地図へどのように移行し、どのようなICT環境によって構築されているのかを解説する。

『古生物大図鑑』

甲能直樹[監修]/ニュートンプレス/457 コウ

アノマロカリス、ダンクルオステウス、ティラノサウルス、ニッポニテス、メガロドン、マンモス…。魅力あふれる古生物たちを、地球の歴史とともに背景の植物にまでこだわったリアルなイラストで紹介する。

『くらべてわかるカエル』

松橋利光/山と溪谷社/487.8 マツ

家の周りや田んぼ、溪流や森林にすむ身近なカエルたちを中心に、日本のカエル54種を紹介。成体、オタマジャクシ、卵を写真でくらべることで、それぞれの種の特徴や形がわかる。カエルの生態図鑑も収録。

『魔法のクローゼット』

くぼしまりお/KADOKAWA/589.2 クボ

誰もが憧れる美しい86歳。角野栄子スタイルは、娘がコーディネーターしていた。気持ちが前向きになる色合わせ、安全で動きやすく機能的なデザイン…。大人になった娘と母のためのファッション・ブック。

『空色の喫茶店 Recipe』

tsunekawa/ワニブックス/596.7 ツネ

クリームソーダ職人で「旅する喫茶」店主が、おうちで作れる夢のようなクリームソーダ&デザート37品のレシピを紹介。おうち喫茶の魅力やクリームソーダの写真的撮り方を綴ったコラムも掲載。

『男も育休って、あり?』

羽田共一/雷鳥社/599 ハネ

国立大学附属小学校の教師で、その学校では初の男性育休取得者となった著者。育休と向き合った中で何を迷い、感じたのか。育休中に生活をどうマネジメントしていたのか。第一子、第二子の育休体験をもとに綴る、等身大の記録。

『長く楽しむお部屋の植物』

境野隆祐/日東書院本社/627 サカ

あなたのグリーンパートナーを見つけませんか? 多肉、コーデックス、サボテンなど、室内で楽しめる「小さな植物」の選び方・育て方・飾り方のポイントを、初心者向けに、写真やイラストを交えてやさしく解説する。

『まるごと馬場のぼる』

馬場のぼる/こぐま社/726.5 ハハ

漫画家・馬場のぼるの初期から晩年までの代表的な漫画や絵本の原画類のほか、イラストやスケッチ、少年時代の作品や資料類等を収録。2021年7月~2022年11月に練馬区立美術館などを巡回する同名展覧会の公式図録。

『東京オリンピック 2020』

共同通信社/780.6 キョ

東京オリンピック 2020での日本選手の活躍ぶりを、カラー写真で余すところなく伝える。聖火リレーのダイジェスト、日本選手団名簿、種目別競技結果も掲載。同タイトルの全国の新聞社が刊行したものと同内容。

『バスルアー図鑑』

望月俊典/つり人社/787.1 モチ

ペンシルベイト、ポッパー、ストレートワーム、ラバージグ…。長年にわたる実体験に基づいて選んだバスルアーを写真で紹介。ライギョ、ナマズ、トラウト、怪魚釣りルアーも掲載。

『文豪と感染症』

永江朗[編]/朝日新聞出版 /918.6 ナカ 文庫

病に冒され辞世の句を詠んだ芥川龍之介、マスクを憎悪した菊池寛…。100年前、20世紀最大の感染症・スペイン風邪に直面していた日本の文豪たち。彼らがスペイン風邪について記録した日記、小説やエッセイなどを収録する。

『うそをつく子』

トリイ・ヘイデン/早川書房/936 ハイ

日常的にうそをつき、暴力をふるう9歳の少女ジェシー。児童心理学者のトリイは、愛着障害と診断された彼女のセラピーを担当する。愛情と忍耐をもって問題を抱えた子どもたちと向き合った著者によるノンフィクション。

『結』

大島真寿美/文藝春秋/F オオ

江戸時代も半ばを過ぎた道頓堀には芝居小屋がひしめき合っていた。人形浄瑠璃に魅せられ、人形浄瑠璃のために生きた人々の喜怒哀楽と浮き沈み、せわしくも愛しい人間模様をいきいきと描く群像時代小説。「渦」の続編。

『とにもかくにもごはん』

小野寺史宜/講談社/F オノ

午後5時開店、午後8時閉店。松井波子が開いた「クロード子ども食堂」。お客さんは、デートに向かうおかあさんに置いていかれる小学生や、娘と絶縁し孤独に暮らすおじいさん…。現代社会の生きづらさと希望を描く群像劇。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

◆◆ホームページアドレス◆◆ <https://www.library.otsu.shiga.jp>

行事予定は裏面へ



